



「黒岩祐治が行く！神奈川の現場」（知事現場訪問） e-メタンを生成する「メタネーション」実証施設を知 事が訪問しました

東京ガス株式会社は、ガスの脱炭素化の技術として、水素(H₂)と二酸化炭素(CO₂)を反応させ、天然ガスの主成分であるメタン(CH₄)を合成する「メタネーション」技術の実証実験を行っています。知事は、令和5年12月12日にメタネーション実証施設を見学するとともに、東京ガス株式会社の笹山取締役代表執行役社長との意見交換を行いました。

はじめに、カーボンニュートラル実現に向けた東京ガス株式会社のメタネーションの取組について説明を聞きました。



続いて、メタネーション実証施設の e-methane(e-メタン)による燃焼実験や実機見学をしました。



最後に、メタネーションの今後の展開や、県内での脱炭素への寄与について笹山取締役代表執行役社長と意見交換を行い、今後の可能性や課題を確認しました。県としても脱炭素社会の実現に向けて取り組んでまいります。



【参考:メタネーション実証施設と e-メタンについて】

2021 年度より、東京ガス横浜テクノステーションにてメタネーション実証試験を開始しました。メタネーションとは、水素と二酸化炭素から都市ガスの主成分であるメタンを合成する技術です。中でも、グリーン水素等の非化石エネルギー源を原料として合成したメタンを e-methane (e-メタン) と呼びます。

製造時の原料として排気ガス等から回収した二酸化炭素を使うことで、実質的に大気中にある二酸化炭素を増やさないため、次世代の都市ガスとして注目されています。

《SDGs の推進について》

県では、SDGs の達成にもつながる取組として、二酸化炭素の排出が少ないエネルギーへの転換に取り組んでいます。



問合せ先

神奈川県環境農政局脱炭素戦略本部室

脱炭素企画担当課長 前橋 電話 045-210-4052

企画グループ 宮部 電話 045-210-4076